



林産試験場の知的財産活用に向けて

概要 Abstract

林産試験場では、木材・木製品の利用促進、森林バイオマスの利用推進やきのこの高付加価値化など、木材利用に係る様々な研究を行っております。

これらの研究活動の中から生まれた優れた技術などを、特許や意匠といった知的財産権として保護し、研究成果の活用を進めています。

新規事業や新製品のアイデアとして、既存製品の改良や生産工程等の改善のヒントとして、さらには、製品開発等を加速するための導入技術として、林産試験場の知的財産の活用をご検討いただければ幸いです。

それでは、林産試験場が取得している特許をご紹介します。

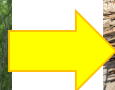
開放特許 patent

○ヤナギ類樹木成分を活用したきのこの菌床栽培

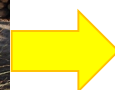
ヤナギ類樹木のチップやおが粉等から製造した水性抽出物を菌床に少量添加することで、きのこの発生促進や発生量増加につながり、生産効率向上に有効です。



ヤナギ類樹木



伐採後



おが粉へ加工



ヤナギの原木からおが粉、**水性抽出物**を製造



水性抽出物



菌床栽培の様子



きのこ発生

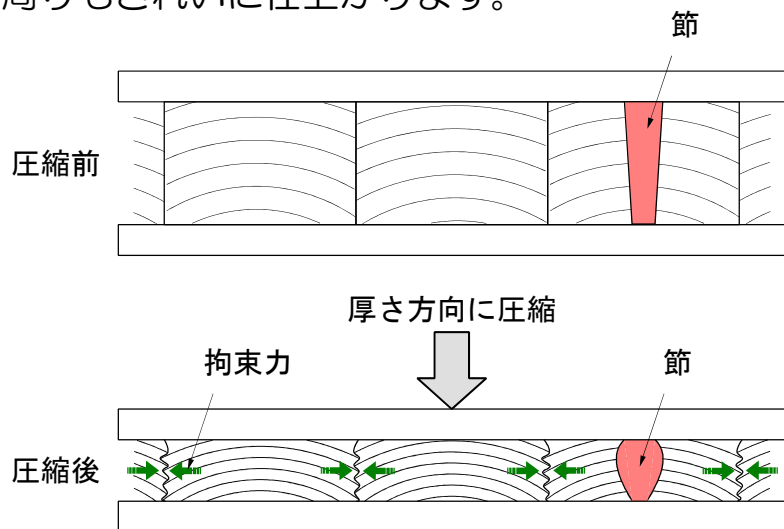
培地への添加

水性抽出物添加菌床からのきのこ発生

○トドマツ圧縮木材

表面に傷のつきやすい道産トドマツなどの針葉樹材を広葉樹同等以上の堅さをもつ圧縮木材に仕上げる技術です。

形状の異なる板材を同時に圧縮でき、節が平坦に、節周りもきれいに仕上がります。



木材の幅方向への変形を相互利用した形状固定

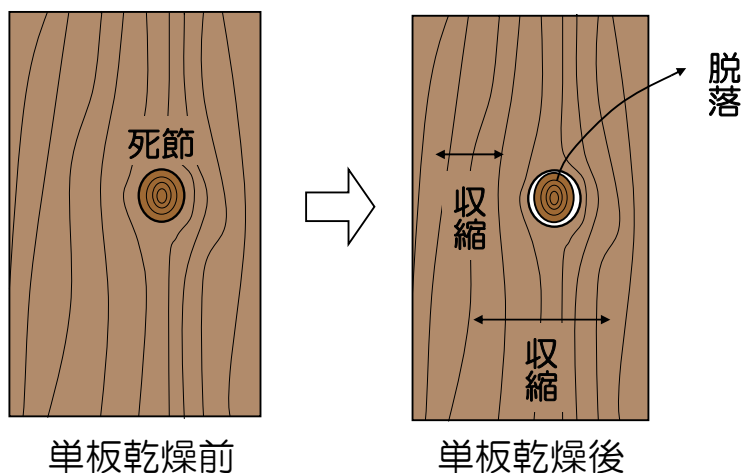


トドマツ圧縮木材の施工事例（保育所）

○抜け節等の防止技術

乾燥工程前に単板の死節部分に節脱落防止処理剤をスプレー塗布し、紫外線を照射して硬化させることにより、節の脱落を防止します。

これにより、単板の効率的生産が見込まれることから、道産針葉樹合板等の高付加価値化と需要拡大が期待されます。



○木材の節脱落防止処理装置

木材の乾燥工程において死節又は生き節が脱落したり、欠け落ちたりするため、従来は人手による仮止めや補修処理をしています。

この装置は、それらの処理を機械で行うことにより、より効率的に単板を生産することができます。



節脱落防止処理装置

処理後

